

山行報告書

日時	2014年10月11日(土)～12日(日)		天候	2日共に曇り(霧)・台風接近中で風強し
山名	九重集中山行			
CL	A:秋山 B:諫山 C:新里	参加者 (14名)	A:阿部、坂本、伊賀、加来、大須賀(体験)(計6名) B:吉田、松岡、小笠(計4名) C:野見山、大久保、吉永(白水鉱泉集合)(計4名)	
HP記載の有無:有				
(コース)	<p>① Aコース 10/11 西鉄春日原6:15～8:07男池8:30～9:15かくし水9:20～9:50ソババツケ10:00～11:20大戸越11:45～12:25平治岳12:30～13:05大戸越～14:00坊ガツル14:35～14:45法華院山荘 10/12 法華院山荘7:05～8:10大戸越～9:05ソババツケ9:13～9:35かくし水9:40～10:05男池</p> <p>② Bコース(2日目はAコースと同一) 10/11 黒岳荘7:15～9:30前岳～12:00高塚～13:00風穴～15:15大船山～17:00法華院温泉</p> <p>③ Cコース(2日目はAコースと同一) 10/11 6:15春日原出発～8:30黒嶽荘着～8:50出発～途中道迷い～10:29雨堤～11:30分岐～12:58風穴～昼食～13:30出発～13:53奥セリ～15:05大戸越～15:45坊ガツル～16:00法華院温泉着</p>			
(コメント)	<p>① Aコース 10月11日曇。朝、男池駐車場から登山道へ出発。ちょうどその頃、大型台風19号が沖縄本島付近をゆっくりと北上中。予想どおり当日寝不足の私は楽チンAコースでのんびり癒されながらのトレッキング。私はサカモト先輩の後ろを歩き、当日体験参加していたマッキーに富山や北海道のステキな山々のお話を楽しく聞かせてもらいました。そんななか、気がつくと新ルートを開拓しそうになり少し回り道をしてかくし水に到着。わずかに流れる湧き水で喉をうるおし、先へすすむ。ソババツケについたが紅葉はまだ2週間後といったところだろうか。ここの分岐より平治岳へ向かう。列の後ろでは元気なIGAさんの健康講座が開かれ、運動の後には30分以内にストレッチと牛乳を飲むといいことがあるらしいことは1度きいてインプット。IGAさん曰く3度繰り返すと記憶にのこるそうだ。登山にも活用できるのであやふやな部分の記憶の為に是非あと2回は講座を開いてほしいと思う。大戸越(うとんごし)に出ると、強めの風が吹いていたがここで昼食。雨具で防寒してもおにぎりを持つ手が少し震える。早く動かねば。さっさと食事をすませ、強風の中でも火をつけようとする某リーダーにタバコは諦めてもらい、平治岳山頂をめざす。ときどき見かける狂い咲きのミヤマキリシマに少し癒されながら無事山頂へ到着。証拠写真をとり早々に坊ガツルへ向かう。一旦非難小屋に入り、ABEさんが沸かしてくれたお湯でコーヒーを頂きました。カラダが温まってホッとします。サカモト先輩の栗の渋皮煮もとても美味しかったです。坊ガツルからは色着き始めた三俣山がみえました。山小屋につくと、リーダーが手続きや毛布等段取りよくしてくれて本当に至れり尽くせり。今回、私は買出しにも参加できなかったので人にしてもらえばいい。この分は別の機会に働かせていただきます・・・!(汗)C・Bコースも到着し、順次お風呂に入ったら談話室で美味しい食事と楽しい宴会。11時にはバンガローに入り消灯したが台風の影響で朝まで暴風が吹き荒れ小屋は揺れ・・・私は睡眠不足2日目。朝、台風は奄美大島の西を北上中。強風のため2日目はA～Cコース全員で大戸越～ソババツケ～男池を通り無事下山。 ※おみやげ情報/男池前の商店:鴨の炭火焼/黒嶽荘:柚子胡椒、炭酸泉</p> <p>二日目はあいにくのお天気でしたが、思い出に残るとも楽しい山行でした。 秋山リーダー、会計の吉田さん、食事担当の大久保さん、野見山さん、ありがとうございました。(記:加来)</p> <p>② Bコース 九重山集中登山Bコースは、一足先に黒岳荘を7時15分に出発。すぐに前岳の上りにかかる。雨に岩が濡れて滑る。踏み跡が不明瞭なのがこのルートの良さだが、迷う人も多い。特に前岳までの上りに注意。今日も2組迷っていた。テープを頼りに慎重に進む。前岳まで2時間を超えた。結局まで高塚まで4時間45分。特に下りで時間を要した。時間短縮のため荷物をダウンすることなく修行のような山行となった。しかしながら、チームワーク良く楽しい山行でもあった。風穴でCコースの面々と偶然の出会い。お互いに冗談交じりにコース変更の誘いの声をかけるが、そのまま全員大船山への上りにかかる。この道は初めてだが、登りは比較的歩きやすい。しかし、尾根を登り切り米窪の縁を半周する道では、深山霧島の枝に道の両側から攻撃を受け切り傷だらけとなった。この一点を除けばこのルートは、迷いもなく歩きやすい。段原から大船山頂へ、山頂の紅葉を期待してダッシュをかける。しかし、紅葉はあまり見られずというより、ガスに包まれ、何も見えない。疲れた足で最後の下り。ということで10時間近い歩行時間となったが、無事に法華院山荘へ到着した。参加の皆さま本当に疲れ様でした。(記:諫山)</p> <p>③ Cコース Cコースのリーダーを務めました新里です。黒嶽の南面を歩く楽勝コースと思い臨みましたが、大きな間違いでした。地図は首からぶら下げておりましたが、出発点でコンパスを合わせることもなく漫然と赤テープに従って進んでいったところいつの間にか廢道らしき道に入り込み、途中でぶつかりテープもなくなり右往左往した挙句、元の道まで戻った時には既に1時間近くも時がたっていました。しかし会長を筆頭にノウ天気なメンバーの集まりであったため「なんくるないさー」の掛け声高く和気あいあいと進んで行きましたが、地図上で想像するコースとはずいぶん違って、岩場のアップダウン、湿った道、それに頻りに山道をふさぐ倒木に悩まされ、やがて両足の筋肉が悲鳴を上げてしまいました。メンバーに遅れがちになりながらもようやく坊ガツルそして法華院山荘にやっとのことで到着しましたが、風呂上がりのビールを飲んだ時には反省もなく何もかも忘れてしまったため、また同じ失敗をしそうです。しかしながら我がチームの女性の元気と健脚には驚き圧倒された山行でした。(記:新里)</p> <p>台風の動向に気を揉み、2日目は予定変更を余儀なくされましたがどうにか無事に山行を終えることができました。参加の皆さん有難うございました。(記:山行委員長 秋山)</p>			
費用概算 ¥10,600	<p>(宿泊費)バンガロー代・毛布代・暖房燃料代・入浴料:¥3,600/人 (交通費)¥6,000/人 <車両提供者と吉永さん以外> (その他)食料費等:¥1,000/人</p>			